

基礎作業学実習 1 にて籐細工に取り組みました (2022.1)

2022年2月15日

「人は作業をすることで元気になれる」—日本作業療法士協会—

対象者が元気になるよう、作業療法士はいろいろな作業活動を利用します。

その作業活動として「手工芸」の籐細工に挑戦しました。

目標は直径 14~15cm の籠に取っ手がついた作品です。

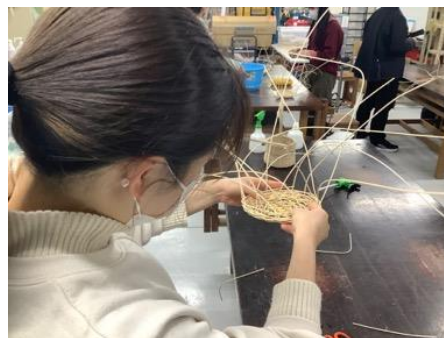
籐は乾燥すると折れやすいので、水を含ませて柔らかくしたもので編みます。

臨床現場では、巧緻性や上肢の力の調節、

作業への耐久性（長時間の座位保持）などの改善を目的に利用されます。



湿らせた籐を編み上げます



どこか、ちがうかなあ？



仕上がり直前



こんなのが出来たら大満足